

映画
浪曲

九州ツアー 2025

黒川弥太郎

赤穂

殿中のごさるぞ

義士

浪曲師 玉川奈々福

11月23日(日)

タ 4:30 開場 4:00
終演 7:00

シネマ5 bis

府内町3丁目 097-536-4512

©KADOKAWA1954

主催：合同会社チネ・ヴィータ
芸術文化振興基金助成事業

©御堂義乗

1954年(昭和29年)
大映京都撮影所製作
監督・荒井良平／脚本:
池田菁穂／原作: 萩原
四朗／撮影: 武田千吉
郎／音楽: 高橋半／美
術: 上里義三
配役: 黒川弥太郎(浅
野内匠頭)、坂東好太郎
(赤垣源蔵)、三条美紀
(お藤)、伏見和子(おつ
や)、進藤英太郎(大石
内蔵助)、杉山昌三九
(不破数右衛門)、南条
新太郎(岡野金右衛門)
モノクロ / 1時間38分



赤穂義士

名人の名調子が泣かせる

特別出演
浪曲口演
(右から)

寿々木米若
すずき よねわか

梅中軒鶯童
ばいちゅうけんおうどう

富士月子
ふじつきこ

玉川勝太郎
たまがわ かつたろう

浪曲に導かれて物語の世界に吸い込まれてゆく、4話オムニバスの浪曲映画

◎寿々木米若・口演
刃傷松之廊下/田村郎の別れ

〽元禄の弥生の空は曇りがち
人のさだめのはかなさを
知るや浅野の長矩侯
〽のこる家中が不憫さに
堪忍袋の緒をしめて
こらえこらえはしてきたが
成るか成らぬは紙一重
松の廊下に嵐吹く

元禄14年(1701年)3月。
播州赤穂(現・兵庫県)の藩
主、浅野内匠頭(たくみのか
み)は、江戸城にて、吉良上
野介(こうずけのすけ)によ
るかねてよりの辱めに耐え
かね、松之廊下にて刀を抜
いて斬りつける。これによ
って内匠頭は田村郎にお預け
となり、切腹を命じられる。
内匠頭の側用人・片岡源五
右衛門(げんごえもん)は、
主君の最期にまみえんと、田
村郎を訪れるのだったが…。

◎梅中軒鶯童・口演
不破数右衛門と妻・お藤

〽海山ふかき君の恩
報ゆる術もないまゝに
かゝる悲報を耳にする
お許しくださいませお殿様
不破数右衛門は大馬鹿者
こんな大事のありしこと
露いさゝかも相知らず
むなしく生きた愚か者

お家の一大事を伝える早駕
籠と出くわした不破数右衛門
は、主君の切腹と赤穂藩の
お家断絶を知り、義士に加わ
らんと、病気の妻・お藤を伴っ
て、家老・大石内蔵助(くら
のすけ)のもとに駆けつける。
ところが内蔵助は数右衛門の
懇願を断り、追い返す。それ
をお藤は、足手まといの自分
あるゆえと悟り、自害して、
内蔵助に心中を披瀝する。二
心なき数右衛門夫妻の忠心
を知った涙の内蔵助は…。

◎富士月子・口演
岡野金右衛門・絵図面取り

〽亡き殿様の仇討ちは
やわか遂げずにおくべきか
色は匂える忠臣義士
浅野浪士は三々伍々
怨みを包みせを忍び
江戸へ東へ行く下り
見送る富士の頂さよ
雪よ男のまごころよ

世を忍び、討入りの苦心の
探索を続ける赤穂義士の
面々。酒店・三河屋の手代
に化けた義士・岡野金右衛
門は、彼に恋心を寄せるお
つやの父が吉良邸の普請を
したことを知る。吉良邸の
絵図面を手に入れるため、
おつやの恋心を利用するこ
とを義士・神崎与五郎は企
てる。無垢なおつやをだま
して、その真心を踏みにじ
ることに、金右衛門の気持
ちは揺れるのだった…。

◎玉川勝太郎・口演
赤垣源蔵・徳利の別れ

〽今宵に迫る討入りの
本懐遂げた暁は
時を移さず死出の旅
日頃のお詫び申上げ
この世の別れを告げたさに
尋ね来ました甲斐もなく
兄上殿にたゞひと目
逢わずに行くが残念至極

元禄15年12月14日。いよ
いよ討入りが今宵に迫る。赤
垣源蔵は、雪に濡れて、兄・
塩山伊左衛門に今生の別れ
を惜しみに来る。だが、兄は
不在で、嫂・おまきは持病を
装って会おうともしない。兄
の帰りを待ちわびる源蔵は、
兄の紋服を前に、持参の徳
利を傾けて、さながら兄の前
であるかのように話しかけ、
感慨にふけるのだった。かく
して源蔵が立ち去った後、帰
宅した伊左衛門は…。

浪曲

玉川奈々福



曲師 広沢美舟

©御堂義乗

明治時代、浪曲の
礎を作った浪曲
師、桃中軒雲右衛
門が完成させた
浪曲の名作が『義
士銘々伝』である。
浪曲の原点と言っ
てもいい義士伝
を、奈々福・美舟
の黄金コンビでお
届けする豪華版。

11月23日(日)

夕 4:30 開場 4:00
終演 7:00

シネマ5bis

府内町3丁目 097-536-4512

前売:3,500円 当日 3,800円

全席指定 11月15日より販売開始

「映画ミーツ浪曲」九州ツアー2025

主催: 合同会社チネ・ヴィータ

芸術文化振興基金助成事業

